

セゾンマルチシリーズ 据付説明書

FDUJ(P)

45HKXD1～280HKXD1

高静圧ダクト形 5-1/8

PSB012D076

本機は制御箱に内蔵のファンコントローラのボリュームにより連続的に風量を調整することができます。使用ポイントが下記に示す風量限界内に入るよう調整をしてください。(ファンコントローラの操作要領は裏面にあります。)

本説明書は、室内ユニットの据付方法を記載してあります。

リモコン及び電気工事の方法は、電気配線工事説明書(室内ユニット付属)を御覧ください。

総合工事仕様と室外ユニットの据付方法は、室外ユニット付属の説明書を御覧ください。

「おねがい事項」

- 取扱説明書を見ながら、お客様に実際に操作していただき、正しい運転のしかた(特にエアフィルタの清掃、運転操作のしかた、温度調節の方法)をご指導ください。
- 長期間使用しない時は、電源スイッチを切るようにお客様にご指導ください。
電源スイッチを入れたままにしておきますと、クランクケースヒータに通電されエアコンを使用しなくても電力を消費することになります。

据付のまに

- 据付はこの据付説明書に従って正しく行なってください。
- 工事計画にあっておりますか。

機種・電源仕様

確認してください

配管・配線・小物部品

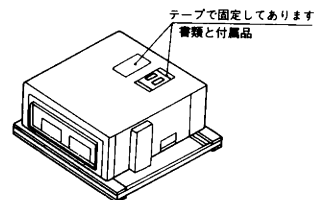
付属品

付属品

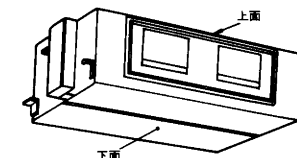
1	パイプカバー	1個	ガス側用
2	パイプカバー	1個	液側用
3	バンド	4個	
4	ホースクランプ	1個	ドレン配管用

注) リモコンは別売品でユニットには付属されません。
224H, 280Hには1～3は付属していません。
(ロー付仕様のため)

付属品収納場所(細包時)



この説明書の貼付してある面が下面となります。



注) FDC112～280HKXの場合、224・280Hの室内機は接続不能ですので御注意ください。

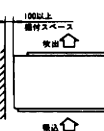
据付場所の選定

(室内機)

据付 & サービススペース (ここに示す据付 & サービススペース、空気条件、風量限界は必ず守ってください。)

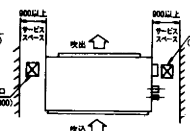
平面図 (単位: mm)

45～140H



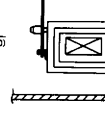
(側面サービス)

224H, 280H (一台当たり)



正面図 (単位: mm)

全シリーズ



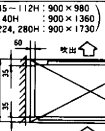
(側面、下面サービス共)

左記に示す条件が満たされるときには

平面図 (単位: mm)

全シリーズ

正面図については左記と同様とします。



45～112H: 900×900
140H: 900×1360
224, 280H: 900×1730

- 冷風または温風が十分行きわたる所。
据付高さが3mを越えると暖気が天井にこもりますのでサーキュレータの併設をご指導ください。
- 室外への配管、配線のしやすい所。
- ドレン排水が完全にできる所。
- 据付部の天井がユニット重量に耐えられるだけ強固である所。
- 本エアコンはJIS露付条件で試験を行いますが、高湿度雰囲気(露点温度23℃以上)で運転すると水滴が落下するおそれがあります。このような場所への設置はしないでください。
- 吸込口、吹出口に風の障害物のない所。
- 火災報知器の誤動作しない所。
- ショートサーキットしない所。
- ドレン勾配のとれる天井裏高き。
- 油の飛沫や蒸気の多い所は避けてください。
(例: 調理場、機械工場) 熱交換器の性能低下・腐食、プラスチック部品の破損の原因となります。
- 高周波を発生する機械がある所は、避けてください。ノイズ発生によるコントローラの誤動作の原因となります。
- 腐食性ガス(亜硫酸ガスなど)、可燃性ガス(シンナー、ガソリンなど)の発生、滞留の可能性のある場所は避けてください。熱交換器の腐食、プラスチック部品の破損の原因となります。
- 冷媒ガスが漏れたとき、周囲の空気が限度濃度を越える恐れのある場合は窒息防止のため隣室との間の開口部やガス漏れ検知警報と連動する機械換気装置などの取付けが必要となりますのでご注意ください。
- エアコン本体とリモコンはテレビやラジオなどから1m以上離してください。

空気条件・風量限界

50Hz/60Hz

定格	下	上	室内ユニット吸込空気温度		室内ユニット周囲の空気温度
			冷	暖	
45H	14/16	11/13	15/17		露点温度 23℃以下
56H	14/16	11/13	15/17		
71H	16/14	15/16	25/26	上置27℃DB 外置35℃のとき	
90H	26/24	15/18	25/26	下置16℃DB 外置15℃のとき	
112H	31/29	18/24	34/35		
140H	34/30	26/30	41/44		
224H	51/40	38/45	45/48		
280H	64/50	51/48	57/60		

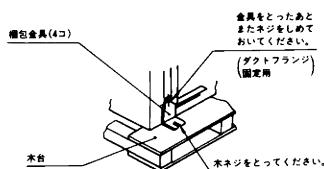
くわしくは弊社発行の技術資料を参照願います。

ユニットの搬入、据付

搬入

- 搬入時はできるだけ据付場所の近くまで梱包のまま搬入してください。
- 解梱して搬入する場合、ユニットを傷つけないよう搬入してください。

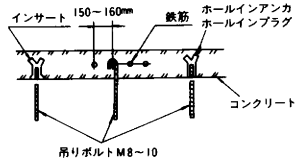
(梱包金具について)
梱包金具(4コ)は不要ですので捨ててください。



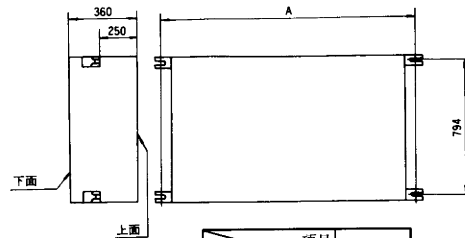
据付

<吊りボルト固定方法>

下図のいずれかの方法で吊りボルトを固定してください。



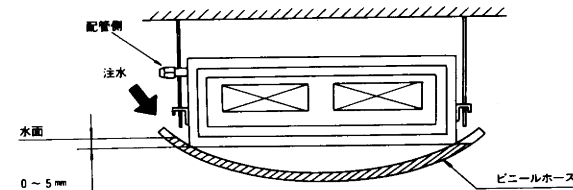
<吊りボルト位置>



機種	項目	A
45~112H		890
140H		1270
224, 280H		1640

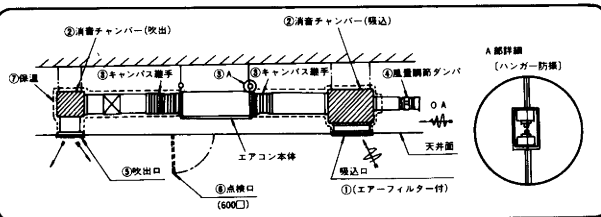
<水平度の調整>

水準器を使用するか、下記の要領で水平度の調整を行ってください。

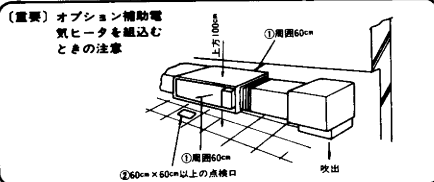


水平度がでない場合、フロートスイッチの誤動作あるいは不動作の原因となります。

ダクト工事

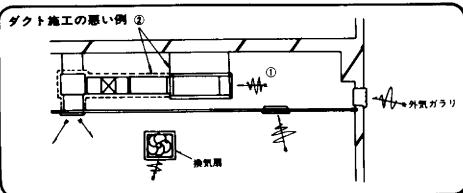


- ①エアコン本体にはエアフィルタが付属されていません。掃除の容易な吸込グリルに組込んでください。
- ②消音チャンバーは据付ける室内の許容される騒音値によって取付けてください。特に低騒音とする必要がある場合は、さらに消音装置が必要です。(事務所、会議室などでは必ず取付けること)
- ③エアコン本体の振動が天井およびスラブに伝わらないようにダクトはキャンパス継手、エアコン本体は防振ゴムにより防振してください。
- ④O A ダクトの接続口には、据付後の風量調節ができるよう、風量調節ダンパを取付けてください。
- ⑤吹出口は室内全般に空気が流れるように位置、形状を選びさらに風量が調節出来る構造のものを使用してください。
- ⑥天井面に点検口を必ず設けてください。電装品、モーター、機能品のサービス、熱交換浄のたに必要です。
- ⑦ダクトの保温施工は必ず実施し、ダクトへの結露を防止してください。保温材の厚さは65mm (JISA9501)です。



- ①可燃性の部分から周囲60cm、上方にあつては100cm (1メートル)以上の距離を保つこと。
- ②電気ヒーターが有効に点検できる位置に1辺の長さが60cm以上の大きさの点検口を設けること。

【重要】 オプション補助電気ヒーターを組込むときはパッケージエアコンを取付ける前に「火を使用する設備等の設置届」を作成し、所轄の消防署等に届出をおこない、審査又は検査を受けること。届出書は左記①②の他に防火対象物の案内図、設置する際の平面図、立面図、構造図、室内仕様表、付属設備図などの図面などが必要。

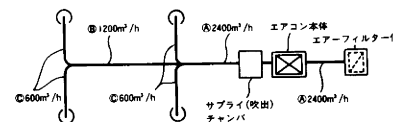


- ①吸込側ダクトを使用せず、天井内を吸込ダクトにすると換気扇の能力や外気がラリに吹きつける風の強さ、天候(雨の日など)等により天井内が高温高湿となります。
- (イ) ユニットの外板に結露し天井に滴下するおそれがあります。ユニットは上表の空気条件及び風量限界内で使用してください。コンクリート建築などで新築の場合も天井内ダクトにしないでも湿度が高くなることがあります。この場合はユニット全体をグラスウール(25mm)で保温してください。(金あみなどでグラスウールをおさえてください。)
- (ロ) ユニットの運転限界(例:外温35℃DBのとき吸込空気温度24℃WB)をこえる場合も考えられ、圧縮機のオーバーロードなどのトラブルの原因となります。
- (ハ) 換気扇の能力、外気がラリに吹きつける風の強さによってユニットの送風能力が多くなり使用制限をこえてしまうため熱交換器のドレンがドレンパンに流れず、外部に流れだすこともあり、(天井にドレンが滴下する)水漏れの原因となります。
- ②ユニットとダクト、ユニットとスラブの防振をしないとダクトに振動が伝わり、天井と吹出口の間で振動音が出たり、スラブにユニットの振動が伝わる場合があります。必ず防振してください。

<簡易的なダクト寸法の決め方>

ダクトの単位長さ当りの摩擦抵抗を0.1mmAq/mとして、ダクトは一边が250mmのものを使用する場合の方法を示す。

140H、60Hz定格風量の場合を例とします。



風量	ダクト (mm × mm)
④部 2400m ³ /h (40m ³ /min)	250 × 560
⑤部 1200m ³ /h (20m ³ /min)	250 × 310
⑥部 600m ³ /h (10m ³ /min)	250 × 190

○ダクト抵抗の計算 (簡便的に下表の如く計算する)

直 径	長 さ	1m 当り 0.1mmAq で計算する (0.1mmAq/m)
曲 り	曲り部 1ヶ所 直徑に直して 3~4m とする	
吹 出	2.5mmAq で計算する	
チ ャ ン バ	1個で 5mmAq で計算する	
吸 込 グリル (付)	1個で 4mmAq で計算する	

<簡易ダクト寸法選定図>

ダクトの形	項目	寸 法
□ 角ダクト		
風 量	単位	単位
m ³ /h (m ³ /min)	(mm × mm)	
100	250 × 60	
200	250 × 90	
300	250 × 120	
400	250 × 140	
500	250 × 170	
600 (10)	250 × 190	
800	250 × 230	
1,000	250 × 270	
1,200 (20)	250 × 310	
1,400	250 × 350	
1,600	250 × 390	
1,800 (30)	250 × 430	
2,000	250 × 470	
2,500	250 × 560	
3,000 (50)	250 × 650	
3,500	250 × 740	
4,000	250 × 830	
4,500	250 × 920	
5,000	250 × 1000	
5,500	250 × 1090	
6,000 (100)	250 × 1180	

ダクト工事 (つづき)

ファンコントローラ操作要領

本機は電装品箱に内蔵のファンコントローラのボリュームにより、連続的に風量を調整することができます。

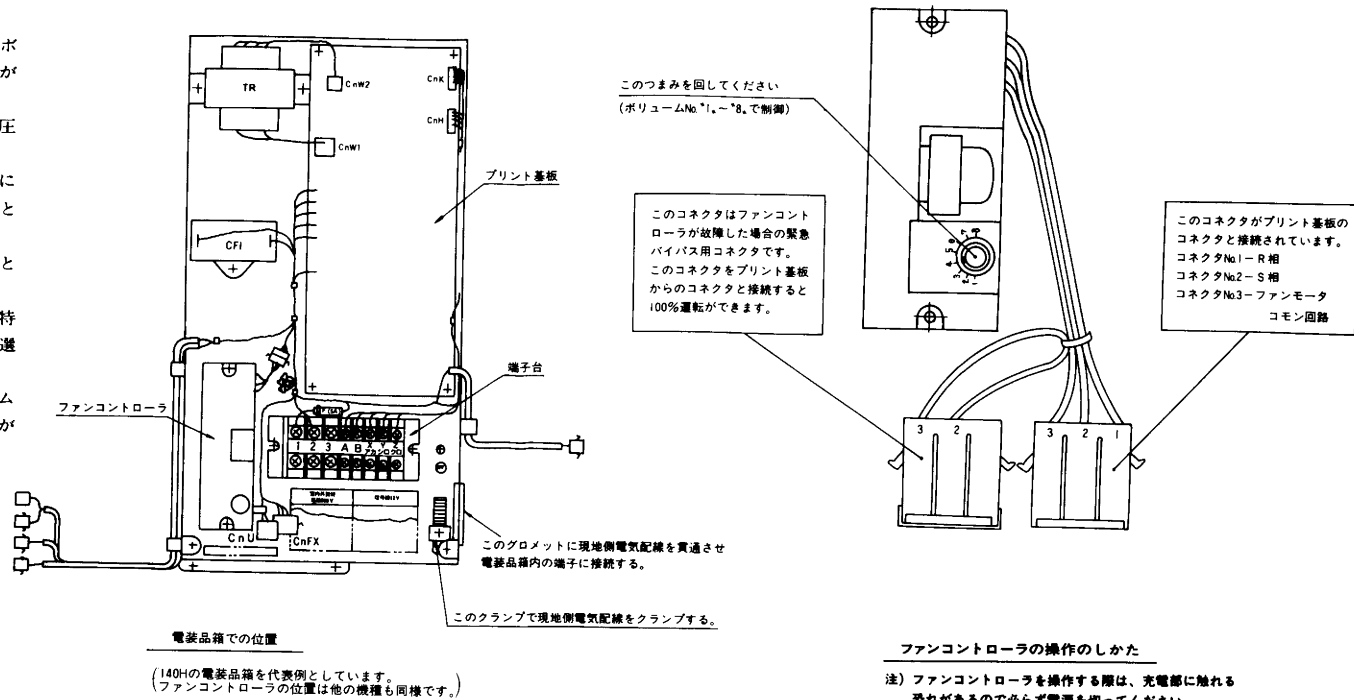
ダクト側でのダンパ等による風量調整（機外静圧調整）は必要ありません。

使用ポイントが運転可能風量範囲内となるように設定してください。（おもての風量限界を参考としてください。）

右図にファンコントローラの電装品箱内の位置と操作のしかたを示します。

- 事前に別途技術資料にて発行されている送風機特性にてファンコントローラのボリュームNOを選定してください。

電気工事終了後の試運転にて選定したボリュームNOを右図の要領に従って合わせて、所要風量がでているかご確認ください。



冷媒配管

- 配管は下記材質のものをご使用ください。

＜材質＞ リン脱酸銅継目無管1種(CI220T, JIS H3300)

- ガス側配管、液側配管とも断熱は完全に行ってください。

●ガス側配管は、暖房時最高温度が120℃になりますので、それに耐える断熱材をご使用ください。

- 冷媒は、室外ユニットに充てんされています。現地配管分のみ（大容量マルチの場合は室内機台数による追加も必要となります）を充てんしてください。

- 配管の曲げはできるだけ大きな半径で行ってください。曲げなおしを何回も行わないでください。

- ユニットの配管端部のフレアナットは必ず2「スバナ」で取り外し配管接続後は、2「スバナ」でしっかりと締め付けてください。

- フレアナット接続時は、フレアねじ部に冷凍機油を塗り、最初は3回～4回手回してねじ込んでください。

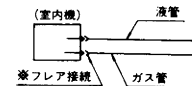
- 配管の継手部は、ガス漏れチェック後付属の継手用断熱材をかぶせ、両端を付属のクラップ材でしっかりと締め付けてください。

- 本エアコンはJIS露付条件で試験を行い不具合のないことを確認しておりますが、高湿度雰囲気（露点温度23℃以上）で運転すると水滴が落下するおそれがあります。このような場合エアコン本体の全て及び配管、ドレン配管にさらに10～20mmの断熱材を取付けてください。

- 配管はねじったり、つぶしたりしないでください。

- 配管内はゴミ・切粉・水分が混入しないよう施工してください。

配管 冷媒配管は下図のように接続してください。

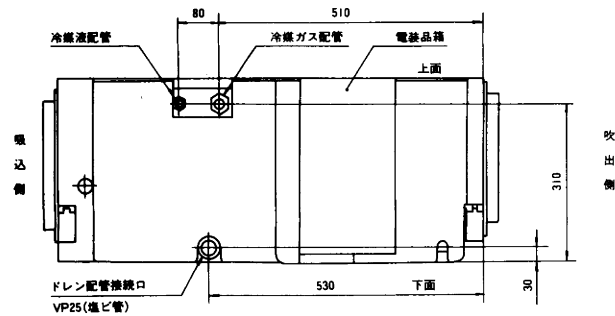


※224, 280Hはロー付です。

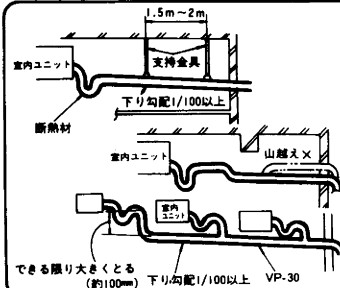
- 室内機配管はサービスパネルを取りはずし可能とするため、配管方向がどのような方向でも必ずユニットから400mm以上のストレート部分を設けてください。

高静圧ダクト形 5-4/8

配管位置



ドレン配管

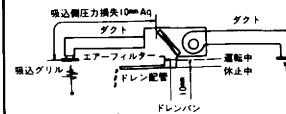


- ドレン配管は下り勾配 (1/50～1/100) とし途中山越えを作らないようにしてください。
- ドレン配管を接続する場合にユニット側の配管に力を加えないように注意して行いできる限りユニット近傍で配管を固定してください。
- ドレン管は市販の硬質塩ビパイプ一般管VP-25を使用してください。
- 複数台のドレン配管の場合左図のように、本体ドレン出口より約100mm下に集合配管がくるようにしてください。また集合管はVP-30以上を使用してください。
- 室内にある硬質塩ビパイプは配管同様必ず保温してください。
- ドレン配管の出口は、臭気の発生する恐れのない場所に施工してください。
- ドレン配管はイオウ系ガスの発生する下水溝に直接入れないでください。

電気工事及び試運転

ユニットに同梱の電気配線工事説明書を御覧ください。

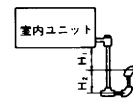
ダクトを接続し、送風機を運転するとユニット内部は大気圧に対して負圧となります。



例：上図の様に吸込グリル、エアフィルター、ダクトの吸込側の圧力損失が10mmAqあるとすれば運転中のドレン水位は停止中に比べ10mm上昇します。

＜トラップの施工＞

エアフィルターの目づまりにより圧力損失は変動するため設計上、ドレンパンには水がたまらないようにトラップを(配管工事のとき)1ヶ所設けてください。トラップは排除が可能な構造とすることが必要です。下図に示すようにT形継手を使用してください。またトラップの高さも下図の様な寸法としてください。トラップはユニットの近くに設けてください。



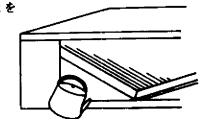
●ドレン配管の途中に1箇所、左図のようなトラップを設けてください。

$H_1 = 100\text{mm}$ 又は送風機の静圧
 $H_2 = \frac{1}{2} H_1$ 又は50～100mm

排水テスト

ドレン配管工事が完了したら、水を流して確認してください。

○サイドパネルをはずし、ドレンパンに1000ccの水を徐々に入れ、スムーズに排水することを確認してください。又、水漏れのないことをご確認ください。



セゾンマルチシリーズ 電気配線工事説明書

FDUJ(P)

45HKXD1～280HKXD1

高静圧ダクト形 5-5/8

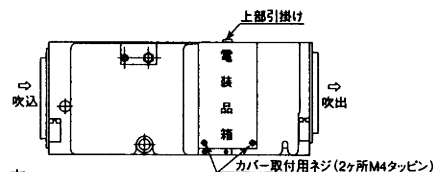
PSB012D515

安全上の注意事項については、ユニット付属の据付説明書に記載してありますので、必ずご参照いただきますようお願いします。

電気配線工事は電力会社の認定工事店で行ってください。

① 電気配線接続

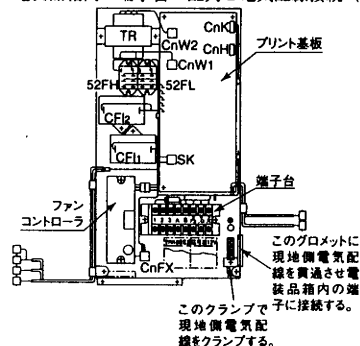
(1) 電装品箱位置



(2) 電装品箱カバーの取外し方

カバー下部のカバー取付用ネジ2本を外して上部の引掛けを外すとカバーは外れます。

(3) 電装品箱内の端子台の配列と電気配線接続 (280Hを代表例とします)



端子No.①②	室内機電源線
端子No.③④	室内・外信号線
端子No.⑤⑥⑦⑧	リモコン線

端子台の端子ネジは「脱着防止機構付」です。(ネジと座金ははずれません。)

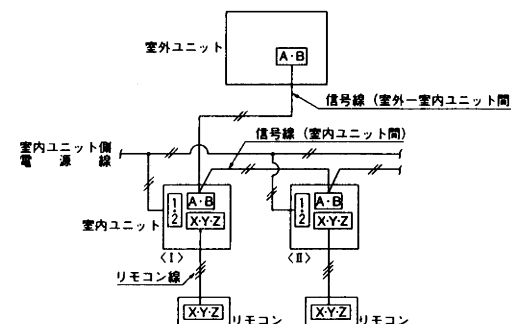
電源配線

●電気工事は電力会社の認定工事店で行ってください。本配線仕様は、

- 1) 電線は銅線以外のものを使用しないでください。
- 2) 電源は、室外ユニット・室内ユニットの夫々別電源 (標準仕様)
- 3) 電気ヒータレス機と電気ヒータ付機を記載してあります。尚、各仕様値の計算は、組合せ可能最大ケースにて計算してあります。組合せ機種・台数等にて、値は、若干異なりますが (低下傾向) 微少のため、同値としてください。
注) 別売の電気ヒータを組込む場合は、電源仕様、配線仕様および配線本数が異なりますので、ご注意ください。
- 4) 同一系統内の室内ユニット電源は、必ず全て同時ON・同時OFFになる様にしてください。
- 5) 信号線と電源線の接続を間違えますとすべての基板が焼損してしまいますのでご注意ください。

配線系統図

〔室外・室内ユニット接続要領〕



記事1. 本配線仕様は、

- 1) 電源は、室外ユニット・室内ユニットの夫々別電源
- 2) 電気ヒータ (別売品) 含まずにて記載してあります。

注) 別売の電気ヒータを組込む場合は、電源仕様、配線仕様および配線本数が異なりますので、ご注意ください。

2. 電源仕様

室内ユニット用		
配線用しゃ断器 定格電流 (A)	室内ユニット 合計電流 (A)	10A未満
		20
		10A以上15A未満
		30
漏電しゃ断器 定格電流 (A)	室内ユニット 合計電流 (A)	15A以上22A未満
		40
		22A以上27A未満
		50
漏電しゃ断器 定格電流 (A)	室内ユニット 合計電流 (A)	10A未満
		20,30mA・0.1sec以下
		10A以上15A未満
		30,30mA・0.1sec以下
漏電しゃ断器 定格電流 (A)	室内ユニット 合計電流 (A)	15A以上22A未満
		40,30mA・0.1sec以下
漏電しゃ断器 定格電流 (A)	室内ユニット 合計電流 (A)	22A以上27A未満
		50,100mA・0.1sec以下

室内ユニット接続線は5.5mm²まで可能です。8mm²以上は専用ブルボックスを使用し室内ユニットへ分岐してください。

3. 配線仕様

電源配線		室内ユニット間電源配線	信号線	
室内側		系統間	室外～室内(I)	室内(I)～(II)～
		mm ² ×本数	mm ² ×本数	
室内 ユニット 合計電流 (A)	10A未満	2×2本 (こう長23m)	0.75 2.0	0.75 2.0
	10A以上15A未満	3.5×2本 (こう長23m)		
	15A以上22A未満	5×2本 (こう長23m)		
	22A以上27A未満	8×2本 (こう長23m)		

注) 内線規定に従い、配線こう長より配線太さを見直してください。

冷暖フリーマルチ (224H, 280H, 560H) の場合

分流コントローラの配線

- 本ユニットを冷暖フリーマルチとして使用する場合は分流コントローラ (別売品) の据付説明書をご覧ください。

② アドレス設定

- (1) 自動アドレス設定
- (2) 手動アドレス設定
- (3) リモコンアドレス設定

上記3項目については、室外ユニット付属の説明書をご覧ください。
なお、(3) リモコンアドレス設定については、設定可能な機種と不可能な機種がありますので室外ユニット付属の説明書をご覧ください。

③ リモコン取付と配線

リモコン リモコンは別売です。

リモコンの据付

お願い 次の位置は避けてください。

- 1) 直射日光の当る場所
- 2) 発熱器具の近く
- 3) 湿気の多い所・水の掛る所
- 4) 取付面に凸凹がある所

リモコンコードを延長する場合の注意 ▶ 最大総延長600m

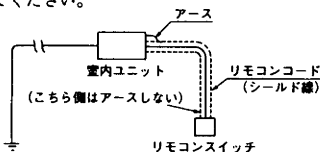
コードは必ずシールド線を使用してください。

- 全形式: 0.3mm²×3心 (MVVS)

注 (1) 延長距離が100mを越える場合は下記のサイズに変更してください。

- 100～200m以内……0.5mm²×3心
- 300m以内……0.75mm²×3心
- 400m以内……1.25mm²×3心
- 600m以内……2.0mm²×3心

- シールド線は必ず片側のみをアースしてください。

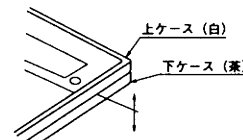


取付要領

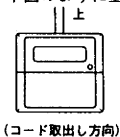
露出取付

- ①リモコンケースをはずしてください。

- 側面上方の上ケース (白) と下ケース (茶) に爪を掛け溝を広げはずします。

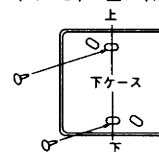


- ②リモコンコードの取出し方向は、下図のように上方向のみ可能です。



- リモコン下ケース側の上方薄内部をニッパー・ナイフ等で切り取った後、ヤスリ等でバリを取ってください。

- ③リモコン下ケースを付属の木ネジ2本で壁に取付けます。



- ④リモコンコードを端子台に接続してください。室内ユニットとリモコンの端子番号を合わせて接続してください。端子台には極性があるので間違えると運転できません。

端子: (X) 赤線、(Y) 白線、(Z) 黒線

- ⑤室内機の機種に応じて機能の設定をしてください。

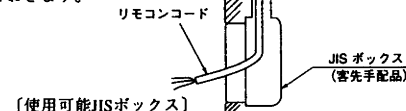
機能の設定 の項をご覧ください。

- ⑥上ケースを元通り、下ケースにはめ込みます。

- ⑦リモコンコードをコードクランプを使用して壁等に固定します。

埋込取付

- ①JISボックスとリモコンコード (延長の場合はシールド線を必ず使用) をあらかじめ埋込んでおきます。



- JIS C 8336 1個用スイッチボックス (カバーなし)
2個用スイッチボックス (カバーなし)

- ②リモコンの上ケースを外してください。

- ③下ケースをM4ねじ2本 (頭φ8以下: 客先手配品) でJISボックスに取付けてください。

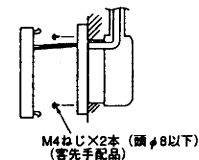
- ④リモコンコードをリモコンに接続します。

注) 露出取付け の項をご覧ください。

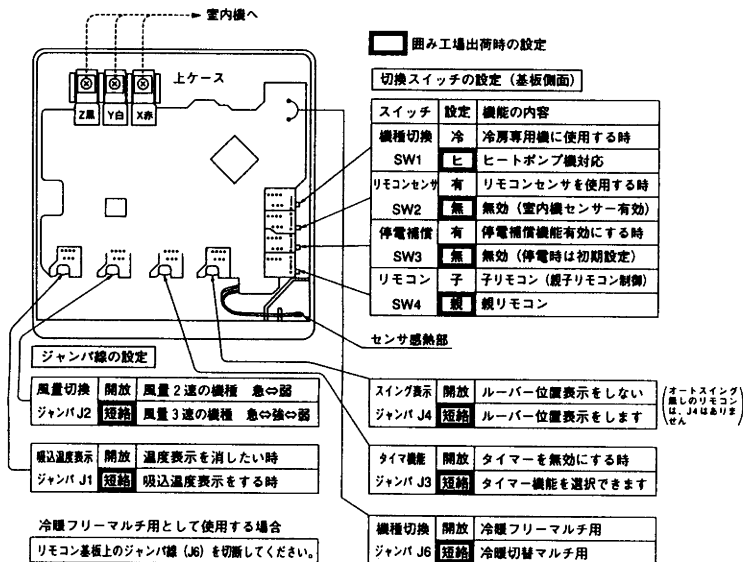
- ⑤室内機の機種に応じて機能スイッチの設定をしてください。

機能の設定 をご覧ください。

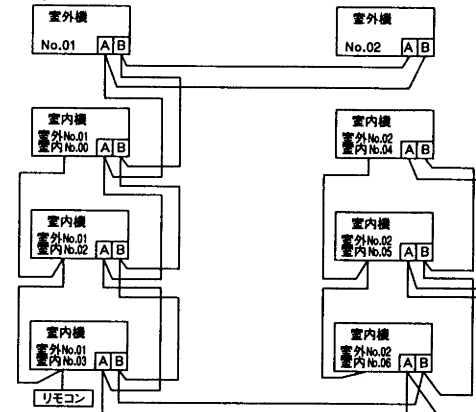
- ⑥上ケースを元通り下ケースにはめ込み取付完了です。



機能の設定



- 下図の様に室外機が複数台の場合でもリモコン複数台制御可能です。
- 1つのリモートコントローラで複数台のユニット (最大16台) をグループ制御できます。



④ 制御の切換

室内機の制御内容を、下記方法にて切換可能です。

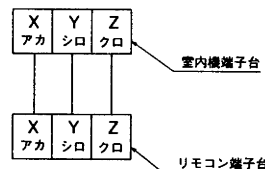
リモコンと室内の配線

- リモコン配線は極性があります。必ず同一端子台No.同士接続してください。

リモコン複数台制御

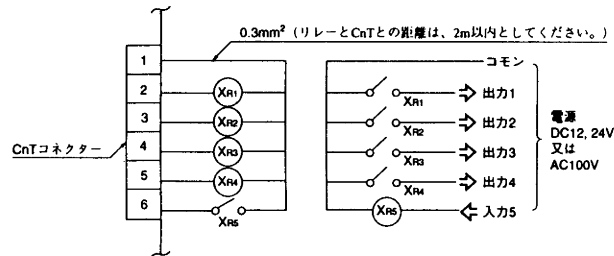
配線要領

- グループ制御用に各室内機間に渡り配線をします。(3本)
- 室内ユニットリモコン用端子台 X Y Z に、接続してください。なお極性がありますので、同じ端子No.の所へ接続してください。
- 配線は0.5mm²以上を使用してください。(配線の引通しに耐えるもの)
- 渡り線、リモートコントローラ配線の総延長は600m以内としてください。
- 室内・室外No.を手動アドレス設定にてセットしてください。
- 室外機の室外No.設定も必要です。忘れずに設定してください。



	制 御 切 換 方 法	制 御 切 換 内 容																																																																						
室 内 機	室内基板 [SW-5] のNo.1をON	遠方発停入力 (CNT-No.6) 切換 出荷時…レベル入力 (反転できない) ↓ 切 換…パルス入力 (反転)																																																																						
	室内基板 [SW-5] のNo.2をON	暖房時設定温度+3℃																																																																						
	室内基板 [SW-5] のNo.3をON	ドレンモータ運転																																																																						
	室内基板 [J-2] 切断	オートスイング4位置制御ナシ (フリー位置制御)																																																																						
	室内基板SW-6のNo.1~4のON・OFFを切換える。	<table><tr><td>機種</td><td>22H</td><td>28H</td><td>36H</td><td>45H</td><td>56H</td><td>71H</td><td>80H</td><td>90H</td><td>112H</td><td>140H</td><td>160H</td><td>224H</td><td>280H</td></tr><tr><td>1</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td></tr><tr><td>2</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>3</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>4</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr></table> 0はOFF、1はON	機種	22H	28H	36H	45H	56H	71H	80H	90H	112H	140H	160H	224H	280H	1	0	1	0	1	0	1	0	0	1	0	1	0	1	2	0	0	1	1	0	0	1	1	1	0	0	1	1	3	0	0	0	0	1	1	1	1	1	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1
	機種	22H	28H	36H	45H	56H	71H	80H	90H	112H	140H	160H	224H	280H																																																										
	1	0	1	0	1	0	1	0	0	1	0	1	0	1																																																										
	2	0	0	1	1	0	0	1	1	1	0	0	1	1																																																										
	3	0	0	0	0	1	1	1	1	1	0	0	0	0																																																										
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1																																																										
室内基板 [J-3] 切断	暖房サーモOFF時に室内ファンが停止する。																																																																							
室内基板 [J-4] 切断	フィルタサイン無効 (検知しない)																																																																							
室内基板 [J-5] 切断	運転許可禁止制御																																																																							
室内基板SW-9のNo.1,2のON・OFFを切り換える (4方向吹出し、 4方向吹出しコンパクト)	オートリフトパネルの昇降長さの設定 <table><tr><td></td><td colspan="2">50Hz地区</td><td colspan="2">60Hz地区</td></tr><tr><td>昇降長さ</td><td>SW9-1</td><td>SW9-2</td><td>SW9-1</td><td>SW9-2</td></tr><tr><td>1.3m</td><td>ON</td><td>OFF</td><td>OFF</td><td>OFF</td></tr><tr><td>1.6m</td><td>OFF</td><td>ON</td><td>ON</td><td>OFF</td></tr><tr><td>2m</td><td>ON</td><td>ON</td><td>OFF</td><td>ON</td></tr></table>		50Hz地区		60Hz地区		昇降長さ	SW9-1	SW9-2	SW9-1	SW9-2	1.3m	ON	OFF	OFF	OFF	1.6m	OFF	ON	ON	OFF	2m	ON	ON	OFF	ON																																														
	50Hz地区		60Hz地区																																																																					
昇降長さ	SW9-1	SW9-2	SW9-1	SW9-2																																																																				
1.3m	ON	OFF	OFF	OFF																																																																				
1.6m	OFF	ON	ON	OFF																																																																				
2m	ON	ON	OFF	ON																																																																				
室内基板 [J-1] 切断	ルーバ角度切換																																																																							

⑤ 室内基板CnTコネクタの機能



- X_{R1}~4はDC12Vリレー（オムロン製LY2F相当品）
- X_{R5}は、DC12, 24V又はAC100Vリレー（オムロン製MY2F相当品）
- CnTコネクタ（現地側）メーカー、形式

コネクタ	モレックス	5264-06
端子	モレックス	5263T

●機 能

出力1	エアコン運転出力（エアコンON時X _{R1} =ON）	
出力2	暖房出力	
出力3	サーモON出力（サーモON時X _{R3} =ON）	
出力4	エアコン点検出力（エアコン点検時X _{R4} =ON）	
出力5	出 荷 時	X _{R5} OFF⇒ON エアコンON
		X _{R5} ON⇒OFF エアコンOFF
	現 地 切 換 (SW5のNo.1をON)	X _{R5} OFF⇒ONのパルス信号によりON/OFF反転

- 冷暖フリーマルチとして使用する場合は分流コントローラ（別売品）の据付説明書をご覧ください。
- 遠方発停・監視キットを別売品で準備しておりますのでご利用ください。

⑥ 試 運 転

試運転については、室外ユニット付属の説明書をご覧ください。

⑦ 故障診断方法

故障診断方法については、室外ユニット付属の説明書をご覧ください。

⑧ 工事完了後のチェック項目

- ☐ 電源電圧は本体表示と同じですか。
- ☐ 室外機側でアース工事はされていますか。
- ☐ 電源線の太さは指定の配線と同じですか。
- ☐ 電源線、信号線、リモコン線の接続位置は正しいですか。